学校番号	313

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「論理国語」（大修館書店）						
副教材等	現代文単語ノート　改訂版（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業で課せられた作文や発表の課題に対して、自ら考え、周囲と協働しながら考えを整理する習慣をつけてください。
・様々な文章を通じて「読む能力」を向上させ、周囲との協働においては「話す・聞く能力」を磨いてください。また授業を通じて考えたことや感じたことを伝えるための「書く能力」を身につけてください。
・学習目標をたて、定期考査や小テストに計画的に取り組んでください。また、提出課題は期限を守り、評価基準を理解して取り組んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。また、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値の認識を深めるとともに、生涯にわたって我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して社会に関わろうとする態度を示している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ［教材］ 「知の登山、知の水路」	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
	「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ［教材］ 「「論理的な人」とはどういう人か」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：論理の本質についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
	具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ［教材］ 「ウサギの耳はなぜ長い？」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。また、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係を捉えようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
	対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ［教材］ 「対話の精神」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係を捉えようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
二学期	具体例の働きを的確にとらえ、具体と抽象の関係についての理解を深める。 ［教材］ 「記号的メディアと物理的メディア」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。また、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，資料との関係を把握し，内容や構成を的確に捉えている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察

		c:メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係を捉えようとしている。			
	対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ［教材］ 「デジタル地図から見える世界」	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係を捉えようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
	主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ［教材］ 「人口の自然―科学技術時代の今を生きるために」	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。また、主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:科学技術についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係を捉えようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
	さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ［教材］ 「量の時代から質の時代へ」	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，資料との関係を把握し，内容や構成を的確に捉えている。 c:消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係を捉えようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
三学期	根拠を明示しながら論理的に主張を書き、基本的な小論文の型を理解する。また、反論を想定し、推敲重ねながら、文章を改善するなど説得力のある小論文を書く。 ［教材］ 「論理的に書く ―小論文①」	a:文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[書]:「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら，自分の立場や論点を明確にして，主張を支える適切な根拠をあげている。また、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，反論を想定しながら、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c:文章を推敲する学習を通して、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫しようとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・観察
	文章と統計資料の関係を的確に読み取る。 ［教材］ 「若者の「海外旅行離れ」は本当か？」	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，資料との関係を把握し，内容や構成を的確に捉えている。 c:海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係を捉えようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察

	異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ［教材］ 「紙の本はなくならない」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
	異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ［教材］ 「情報化と紙の本のゆくえ」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート ・観察
	具体的なレポートのテーマを決め、必要な情報を集め、読者を意識しながら、読みやすくわかりやすいレポートを書く。 ［教材］ 「レポートを書く」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b「書」：「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集・整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。また、吟味した情報から、多面的・多角的な視点で自分の考えを見直し、主張を明確にしてから自分の意見や考えを論述している c：学習したことをふまえて、自分の主張をレポートにまとめようとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート ・観察

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　―　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間